

IPO銘柄 シマダヤ (250A・スタンダード)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
250A	100株	公募：0.00万株 売出：228.07万株（OA34.21万株）	1,620円～1,880円 (13.9倍)	大和証券



麺類、関連食料品を製造、販売

■事業内容

麺類、関連食料品の製造、販売を行う。1931年に名古屋で創業した米穀商「島田屋商店」が発祥。1949年に事業を製麺業に切り替え、「めんシマダヤ」が誕生した。製麺業界初となるチルド麺の完全個包装化や冷凍麺の開発、「流水麺」をはじめとする数々の画期的な商品を世に送り出してきた。国内に3つの製造子会社、11工場を有する。家庭用事業部門では一般家庭向けにチルド麺、冷凍麺を主要な商品とし、業務用事業部門では外食・中食向けに冷凍麺を主要な商品として製造販売を行う。2024年3月期の売上高構成比は家庭用事業62%、業務用事業38%。

■特徴

麺類の専門メーカーとして蓄積してきた商品開発力、生産面では大規模な麺生産のノウハウや高度な衛生管理技術を有する。流通販売面でも家庭用でスーパーマーケットなどの小売業への広範な直販ルートを構築し、業務用では卸売業者を通じて飲食業などへ積極的な提案営業を展開している。

アナリストコメント

■定量分析

25年3月期の連結経常利益は前期比15.3%減の29億4,400万円を計画する。売上高は堅調な増加を見込んでいるが、原材料・資材価格の上昇、物流費や人件費の上昇で販管費の増加が打撃となって利益率が悪化する。

■定性分析

メルコホールディングス（6676）からのスピノフIPO。特殊なレギュレーションのIPOである上、事業には成熟感が強く、今期業績も減益見込み。高い知名度はプラス材料だが、IPOでは食料品セクターの人気も高くない。

■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は50億円程度。これに加えて9月末時点のメルコ株主にシマダヤ株が割り当てられるため、上場当日に市場に出てくる株券の動向が読みづらく、需給面には不透明感が強い。（小泉 健太）

■類似企業

シマダヤ (250A・スタンダード)	予想PER 13.9倍 (仮条件上限)
和弘食品(2813・スタンダード)	予想PER 7.7倍
マルタイ(2919・福証)	予想PER 24.3倍

■引受証券

大和証券、東海東京証券、みずほ証券、岡三証券、SBI証券、楽天証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
23年3月期(実績)	34,115	—	2,377	—	1,834	—	120.7	27.82
24年3月期(実績)	38,973	14.2	3,474	46.1	2,524	37.6	166.1	394.43
25年3月期(会社予想)	39,583	1.6	2,944	▲15.3	2,058	▲18.5	135.4	40.00

※23年3月期より連結決算

※24年7月に株式分割(1株→1.43749676211724株)を実施。23年3月期および24年3月期のEPSと配当金は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
23年3月期	10,577,900	29,776	19,551	1,000	1,285.8	65.7	9.3
24年3月期	10,577,900	23,889	15,837	1,000	1,041.6	66.3	14.3

※23年3月期および24年3月期のBPSは遡及修正

メルコホールディングスの大株主上位

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	(株)メルコグループ	7,740	46.33
2	牧 寛之	2,093	12.53
3	ECM MF(常任代理人 立花証券株式会社)	1,621	9.70
4	日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	717	4.29
5	公益財団法人牧誠財団	500	2.99
6	(株)日本カストディ銀行(信託口)	191	1.14
7	J.P.MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SEGR ACCT(常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東 京支店)	162	0.97
8	岩崎 泰次	146	0.87
9	メルコ共栄会	112	0.67
10	牧 廣美	79	0.47

※上場前のシマダヤはメルコホールディングスの完全子会社

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	岡田 賢二
専務取締役 人事総務部長	相馬 紳一郎
常務取締役 開発研究所長	小原 伸之
常務取締役 業務用事業本部長	佐々木 敏夫
常務取締役 家庭用事業本部長	曾根田 直基
取締役 経理部長	太田 智之
取締役(非常勤)	牧 寛之
取締役 監査等委員	加藤 優
取締役 監査等委員	深山 隆
取締役 監査等委員	高木 康行
取締役 監査等委員	坂井 愛

ウェルスアドバイザーIPOレポートの読み方

特徴

ウェルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウェルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウェルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング: 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
